

よりレベルの高い教育をめざします

# 城北中学校

〒174-8711 東京都板橋区東新町2-28-1 ☎(03)3956-3157 FAX(03)3956-9779  
ホームページ <https://www.johoku.ac.jp>

校長 小俣 力

男子校

## 教育方針

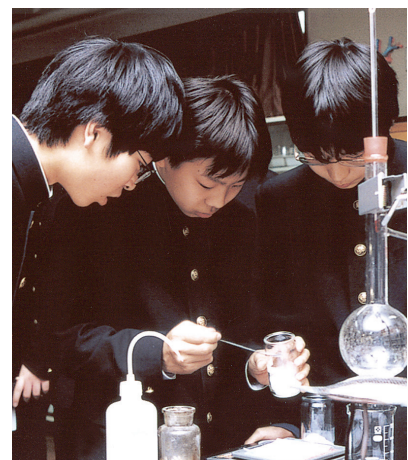
深井鑑一郎先生、井上源之丞両創立者の提唱した建学の精神を堅持し、青年期の間形成と大学進学指導の徹底が本校教育方針の二本柱です。

人間形成においては、「着実・勤勉・自主」の校訓の実行を目標として有為なる青年の養成をめざし、広々とした校地・諸施設・緑豊かな環境を最大限に活用して、学習・課外活動の両面から自立的な人格の形成を図り、各自の個性伸長を努力目標とし、実社会においてリーダーシップを発揮できる力を養います。

## 中高一貫教育の実践

平成16年から中学7クラス、高校9クラス編成による中高一貫主体の体制になりました。この一貫教育は、本校独自の3期指導体制のもとで進められています。最初の2年間を基礎期、つぎの2年間を錬成期、最後の2年間を習熟期として3期制をとり、通常の中学・高校とは異なる編成にしています。

英・国・数の主要科目については授業時間を増やし、基礎期では中学各教科の基礎力と応用力を身につけます。錬成期の中学3年にあたる時期から高校の教科内容の学習に入り、習熟期になると各自の適性に合わせた多様なカリキュラムの下で、志望大学をめざします。また、音楽、美術など情操教育や課外活動のための施設、行事も充実しています。



## 豊かな学園生活のために

本校は35,000m<sup>2</sup>の校地に32,000m<sup>2</sup>におよぶ全館空調完備の中学棟、高校棟を構え、その中に充実した特別教室、大小16のゼミ室、理科フロアー、進学センター、図書館などを備えています。また、コンスパース等の生活スペースのゆとりも重視したものとなっています。25m7コースの室内温水プール、バスケットコート2面のメインアリーナ、卓球場、トレーニング場、体育館としても機能する多目的ホールなど体育施設面も充実しています。さらに放送スタジオ、最新機材の整った視聴覚室、昨年度、各教室に65インチ大型モニターが設置されました。



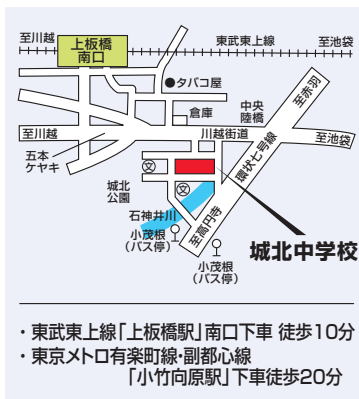
城北中の体験授業

## 受験生へのメッセージ

中学・高校時代は、子供から大人に脱皮する時期です。親の保護の下にある自分ではなく、何事に対しても自分が主役となれるよう、社会性や創造性、人間性を高め、正しい判断ができたり、責任を自覚できるようにならねばなりません。

本校の校訓である「着実・勤勉・自主」はそれらの実現のために、各自がしっかりとげんていく目標を示したものです。

積極的に自己の可能性、創造性をはつらつと追求していく生徒集団。これが本校の求める生徒像です。そうした城北で自分を磨いてみませんか。



- ・東武東上線「上板橋駅」南口下車 徒歩10分
- ・東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」下車徒歩20分

## 学校を訪問してみよう！

### 学校説明会(要予約)

10月12日(土) 13:30～  
※2月22日(土) 13:30～  
※小学4・5年生対象

### 入試説明会(要予約)

11月23日(土)祝 10:00～  
11月30日(土) 13:30～  
※両日とも同じ内容です。

### クラブ公開(要予約)

9月14日(土)・11月16日(土)  
午後開催、詳細は  
HPにて公開します

### 文化祭(見学は自由)

9月28日(土)・9月29日(日)  
「受験相談コーナー」設置

### 施設見学会(要予約)

12月14日(土) 13:30～  
12月15日(日) 10:00～  
※自由研究展示コーナーあり

## 募集要項(2020年度)(予定)

	1回目	2回目	3回目
募集人数	約115名	約125名	約30名
試験日	2月1日(土)	2月2日(日)	2月4日(火)
願書受付	1/10～1/30	1/10～2/1	1/10～2/3
	※全日程インターネット出願		
試験科目	国語・算数・社会・理科		
合格発表	2月1日(土) 19:00	2月2日(日) 20:00	2月4日(火) 19:00
入学手続 〆切	2月4日(火) 14:00	2月4日(火) 14:00	2月5日(水) 16:00

## 特別企画



安田教育研究所

# 安田 理先生の学校探訪！

保護者がわが子を男子校に入れようとする理由の上位2項目が「学習指導」と「大学進学」である。そのため男子校はどことも大学進学教育に大変力を入れるのがふつうだ。が、実際の学校は、幼いまゐ入学してくるケースが多いので、「大人に成長させる」ことに力を入れているケースが多い。とりわけ城北からは「人間的成長」に心を砕いていることを感じさせられる。



校長 小俣 力



## 保護を受けて育った男の子

仕事柄、受験期の保護者・本人と接することが多い。そうしたとき感じていることの一つに、男子の母親のほうが女子の母親より心配性で、なおかつ全力投球しているということだ。女子との関係はもう少し冷めているというか、客観的な目線をも感じる。ところが男子については「過保護」といってもいいくらい関わる。「あなたは勉強だけしていればいいの。他のことはみんなママがやっておける」—そんな調子である。

レベルの高い学校ほど母親が一生懸命になる傾向があるので、ある意味偏差値が高い学校ほど「軟な」男子の比率が高くなる。城北の小俣校長は生物の先生。男子の成長をこのように語る。

「モンシロチョウは青虫のころはキャベツを食べています。さなぎになると外からは何も見えませんが実は変化しているのです。成虫になり飛び立つと、花に止まり蜜を吸う。思春期の男子はさなぎ状態のようなもの。しゃべらないし、何を考えているのかわからない。が、その間に体は大きくなり、顔も声も変化します。こんな時期は、細かくあれこれ干涉するのではなく、大きく羽ばたくための準備をしているのだと見守ることが大切です」

さすが80年近く男子教育一筋にきただけに、男の子がどう成長していくのかよく分かっている。

## 成長の大きなきっかけとなる「留学体験」

女子校・共学校に比べると「グローバル教育」に力を入れているのが男子校の共通点。そうした中で城北は近年「グローバルな人材の育成」に積極的に乗り出している。

### ●イングリッシュ・シャワー

中1は3月、中2は12月、中3・高1は7月というように学年ごとにふさわしい時期に「イングリッシュ・シャワー」という「国内留学」を設けている。ネイティブスピーカー講師1名に生徒5～6名がついて1日6時間×3日間の英語漬けの日を過ごす。自分から話さなければならぬというプログラムを組んでいるので、しゃべることが苦手な男子も否応なく話すようになる。また、外国人に対しての抵抗感が減ることこのプログラムの大きなメリットだ。

### ●オンライン英会話

近年は「オンライン英会話」(フィリピンのセブ島などの講師とマンツーマンで行う英会話の個人レッスン)を取り入れる学校は多い。が、「放課後に任意で」、「年間数回」ではなかなか効果は上がらない。で、城北では高1時に全員が年間20回授業中に行っている。形だけ行っている学校が多い中で、実質的な効果を求めている姿勢は素晴らしい。

### ●オーストラリア語学研修

中3と高1の希望者を対象に、オーストラリアで15日間過ごす語学研修もある。ホームステイしながら大学で英語の勉強をし、地元の小学校の児童、ハイスクールの生徒とも交流する。これもコミュニケーション力の向上を重視している。

### ●ターム留学

さらには4か国の40校から選ぶターム留学も始めている。高1の3学期を海外で過ごす。現地の高校で英語以外の教科も学ぶ。

3か月も保護者から離れていると、「自分のことは自分でするようになった」「言われなくてもやるようになった」と、保護者が驚くほど変わる。

海外に出なくても、入学後すぐに行われる長野の大町山荘でのオリエンテーション合宿では、共同生活を通じて仲間づくりの経験をする。

また、昨年の体育祭はCNNが取材にきた。棒倒し・騎馬戦、100m走…。映像を見せてもらったが、冒頭に述べたような軟な男の子が見事にたくましくなっていることに驚いた。

## 行事があれば必ず発表

城北は行事を大切にしている学校である。「自由研究発表会」はなんと33年目になる。「私の主張コンクール」、先の「ターム留学報告会」ほか、校外学習のたびにグループ発表させる。男子が弱い発信力、プレゼン力の向上に努めているのだ。

## 高校入学生がいることの刺激

高校募集を停止する学校が続いている中、城北は高校からの受け入れを継続している。

- ・家庭環境が異なる生徒の存在がもたらす社会への視点の深さ
- ・受験勉強を経てきたばかりの仲間の学びの姿勢
- ・大人っぽくしっかりした姿勢
- ・女の子についての情報

さまざまな点で内進生には刺激になる。こんなところも城北の魅力ではないだろうか。